

平成29年 第8回 教育委員会定例会議事録

招集日時 平成29年6月23日(金曜日) 午後3時45分開会/午後5時閉会
招集場所 市民会館2階 第1会議室
教育長 山下修平
出席委員 篠原隆一、山下裕嗣、疎幹子、佐野明子
会議列席者 梶谷事務局長、向出次長兼学校指導課長、山本教育庶務課長、崎田生涯学習課長、中田スポーツ課長、
寫崎文化財保護課長、北口文化財保護課参事、前野中央図書館長、谷口山中図書館長、
奥村マラソン開催推進室長、渡部教育庶務課長補佐

山下教育長 平成29年第8回教育委員会定例会開会宣言

挨拶

今ほど教育委員の皆さんは、校長会との意見交換会ということでお疲れ様でした。初めて意見交換会に臨まれた委員の方もお二人おられるということで、緊張もされたかと思いますが、いい意見交換会になったと思います。

市役所の方では6月議会がいよいよ終盤となり、来週の月曜日が最終日となります。この間、小学校では今週2日間文化会館の方で音楽会が催されましたし、中学校では先週の土、日、月で加賀地区大会が終わりました。これで上位の成績に入った生徒は県大会への出場となります。今日は審議事項は2件ですが、報告事項、その他もたくさんあります。それではさっそく審議事項に入りたいと思います。議案第32号、加賀市教育振興基本計画審議会設置要綱の制定について山本課長お願いいたします。

- 議案第32号 加賀市教育振興基本計画審議会設置要綱の制定について
山本課長 資料に基づき説明

山下教育長

ただ今、教育振興基本計画審議会設置要綱の制定についてということで説明がありました。平成24年にまずこの計画が出来たわけですが、5年経ち、今年は見直しの時期にきているということで、今年から見直しに入ります。そういうことでもう一度この設置要綱を定めるということですが、これについて何かご意見、ご質問ございませんか。特にありませんか。それではこれは次と併せて決を採るということでもよろしいですか。それでは関連しておりますので、今の基本計画審議会委員の委嘱について山本課長お願いいたします。

- 議案第33号 加賀市教育振興基本計画審議会委員の委嘱について
山本課長 資料に基づき説明

山下教育長

それでは今ほど教育振興基本計画の審議会の委員について説明がありました。これを見ておまして、その当時私はちょうど4番目の校長会の副会長ということで、この会に

出て、振興基本計画を作ったんだなということを今思い出しました。不思議な縁を感じております。ということで今の説明の通り、教育に見識のある者、学校関係者、社会教育関係者ということで10名を選ばせていただきました。この件について何かご意見、ご質問ございませんか。

篠原委員

はい、だいたいこのメンバーを拝見いたしますと、各種団体の会長さん、あるいは会長さんと副会長さんということでなっていると思います。ただしひとつだけ、社会体育関係者だけが副理事長さんという方が選ばれておりますけれど、理事長さんではないのかなとちょっと思ったんですが、いかがでしょうか。

山本課長

はい、下から2人目の霜下順子さんですけれども、人選するにあたりまして、体育協会の事務局の方とご相談させていただきました。そんな中で霜下副理事長さんのご推薦を事務局の方からいただいたという、そういった経緯の中での人選です。

篠原委員

理事長さんは当然ご了解していますよね。

梶谷局長

了解は得ております。前は西田悦子さんが入っていますので、そこを選出するというのは了解のもとで。今回も西田先生にも打診したんですが、今回は後進の方をお願いしたいということで、協会の中での合意事項のもとで選ばせていただいております。

篠原委員

了解しました。

山下教育長

他、ございませんか。

山本課長

ちょっと補足でお願いします。前回平成24年の当初の策定時、その時からの継続で同じ方につきましては、田邊先生と桑村先生、下にいきまして堂新橋さんと長谷川先生、この4人の方が前回からの継続の委員さんになります。

山下教育長

それでよろしいでしょうか。

篠原委員

はい。

山下教育長

他、ございませんか。

山下委員

はい、先に教育振興基本計画がありまして、今度見直しということで、その後になりますが、第2次の加賀市の総合計画の中身を踏まえた加賀市の教育大綱が出来ました。そうすると2本線になってしまう可能性がでてくるということで、その辺の整合性について、それを監督するんじゃないですけども、調整するような立場の何か教育長とかそういう部分がないのかなというのが質問でございます。

山下教育長

これについて事務局お願いいたします。

山本課長

この見直し作業を進めるにあたりましては、この審議会の方にまずは教育委員会から諮問というかたちですることになります。それでこの審議会で審議をしていただきますけれども、答申に至る前の段階で、途中経過報告というようなかたちでこの委員会の方にも要点となるようなところは、報告させていただこうかなと思っております。諮問した以上は、その答申をまとめるのは審議会とはなりますけれども、今山下委員さんがおっしゃったような不整合とか、そういったものがあつたとした場合には、その辺りをまた審議会の方に伝えながら、そういうことのないように進めていきたいというふうに思います。

山下委員

ありがとうございます。

篠原委員

すみません、この審議会はだいたいどのくらいの期間で何回くらいの回数を予定されて

いますか。

山本課長 今回の見直しに関しましては、年内中までに答申をまとめることを目指しております。答申自体は年明けくらいになるかなと思います。回数としましては4回を予定しております。

山下教育長 年内に4回くらい会合をもってまとめるということです。他、ございませんか。それでは議案第32号、第33号併せて決を採りたいと思います。加賀市教育振興基本計画審議会設置要綱の制定について及び加賀市教育振興基本計画審議会委員の委嘱について賛成の方は挙手をお願いします。

委員 全委員挙手

山下教育長 全会一致で可決といたします。ありがとうございます。以降は報告事項になります。報告第27号、平成29年第2回加賀市議会定例会（6月）の答弁について山本課長お願いいたします。

- 報告第27号 平成29年第2回加賀市議会定例会（6月）の答弁について
山本課長 資料に基づき説明

山下教育長 本議会の教育委員会関係の答弁についてということですが、何かご意見、ご質問ございませんか。ひとつ訂正をお願いします。乾議員の2番の教職員への手当についての最後の行、一日につき3,000円ですので訂正をお願いします。何かありませんか。今回はいつになく教育委員会の質問の数は少なかったです。前は30くらいありました。特になければ次にいきたいと思います。報告第28号、学校施設における主な改修・修繕の予定について山本課長お願いいたします。

- 報告第28号 学校施設における当面の主な改修・修繕の予定について
山本課長 資料に基づき説明

山下教育長 学校施設における当面の主な改修・修繕の予定ということで一覧が示されております。空調関係、トイレ洋式化、屋根の改修、プールの修繕、電気錠、給食設備修繕というふうになっております。これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

篠原委員 お願いいたします。13番の電気錠のことですけれども、今年度は南郷小、金明小、勅使小で取付けということですが、まだ未設置のところはありますか。

山本課長 未設置の学校を申し上げますと5つあります。その内訳は緑丘小、三木小、分校小、湖北小、錦城中この5校です。これらについても今後2年間くらいに分けて順次取り付けていきたいと思っております。

篠原委員 ありがとうございます。

山下委員 はい、錦城中学校はまだ未設置だということですが、錦城中学校が一番端っこで目につきにくいところに入があるので、優先的には錦城中学校がいいんじゃないかという意見であります。

山下教育長 錦城中学校の職員の玄関ですか。

山本課長 職員の玄関ですね。

山下教育長 鍵はかかるはずですよ。

山本課長 職員室からの自動の開け閉めの装置はついていないということで聞いているんですが。

山下教育長 またちょっと確認しておいてください。他、ございませんか。今年度このような改修・修繕を行っていくということでご理解をください。それでは次報告第29号、かがっ子土曜スクールの実施状況について向出次長お願いいたします。

- 報告第29号 かがっ子土曜スクールの実施状況について
向出次長 資料に基づき説明

山下教育長 かがっ子土曜スクールの実施状況について何かご意見、ご質問ございませんか。ございませんか。それでは今後もこのようなかたちで続けていくということです。続いて報告第30号、中学校放課後かも丸塾の実施状況について向出次長お願いいたします。

- 報告第30号 中学校放課後かも丸塾の実施状況について
向出次長 資料に基づき説明

山下教育長 中学校放課後かも丸塾の実施状況について何かご意見、ご質問ございませんか。

疎委員 夏休みはお休みということですか。

向出次長 はい。かも丸塾はお休みです。土曜スクールはあります。

山下教育長 今これで6回開催をして何かトラブル等の情報は入っていませんか。

向出次長 学校でトラブルは今のところなく、とても子ども達は頑張っていると聞いています。ただ場所と天候上の関係で、選んだ場所が適切だったかどうかということ。暑くて勉強にならないということがありまして、そのあたりを検討していきたいということと、あと教材についてはもう少し工夫していくことも必要ではないかということで、学校独自のものということで学校とも協議しながら考えていきたいと思っております。

山下教育長 他、ございませんか。

篠原委員 付け加えて、今教材のことを学校独自とおっしゃいましたね。たぶん土曜塾の場合は市で定められたものをやっているんだと思うんですが、中学校のかも丸塾の場合は、学校ごとに内容が違うということなんですか。

向出次長 いえ、基本的には市から用意したプリントをやります。放課後塾ですので、進度が生徒によって異なって、早く終わってしまう子もいますし、1回に用意してあるプリントは数が限られているので、それ以外では例えば学校で出された課題についてやるとか、そういうような工夫とかも今後していかなくてはいけないと思います。基本的には教材は市が用意してございます。

篠原委員 基本的には市が用意して、そのプラスアルファというかたちで学校で出された課題とか、学校独自のものがあると理解すればよろしいですか。

向出次長 はい、そうです。

篠原委員 ありがとうございます。

山下教育長 他、ございませんか。

梶谷局長 山代中学校の講師は今何人入っているんですか。

向出次長 山代中学校は2名です。他は1名です。

疎委員 すみません、それは登録人数によってということですか。

向出次長 そうです。山代中学校の場合は1名増やさせていただいたということです。元々は1名ずつでお願いしてあったんですが、あまりにも人数が多いので、もう1名お願いしたということでございます。

篠原委員 付け加えて、かも丸塾のことですけど、今橋立中学校の生徒が当初1名だったのがプラス4人に増えたと。大変いいことだと思うんですが、これは年度の途中からというか第1期の途中からでも、もし希望があれば増やすことが可能なんですか。

向出次長 いえ、原則それは行っていないんですが、橋立の場合は元々1名だったので、運営をどうしていくかという部分もあって、校長先生とも相談させていただいたりしていた中で、中学校1年生の子をあと4名だけ追加したいということで。この後は1期、2期という登録の仕方をやっていきたいというふうに思っております。

篠原委員 橋立中学校はあくまでも例外だというふうに捉えればいいわけですね。

向出次長 はい。

篠原委員 原則的には1期ごとの中で何人かを登録すると。これは中学1年、2年、3年ですから、学年がランダムですよ。例えばこの錦中の登録されている9名も中1から中3までバラバラにいると思うんですが、そういうところで先ほど市の統一教材の話が出てきましたよね。それはそれぞれ学年に応じた中身をやっていると理解すればいいですか。

向出次長 はい、そうです。

篠原委員 ありがとうございます。

山下教育長 他、ございませんか。よろしいですか。では続いて報告第31号、プログラミング教育に関連する一連の事業について向出次長お願いいたします。

● 報告第31号 プログラミング教育に関連する一連の事業について
向出次長 資料に基づき説明

山下教育長 今年度全国に先駆けてプログラミング教育に加賀市が取り組むということで、その取り組む内容の一覧を記してあります。これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

疎委員 はい、7月17日のセミナーは希望すれば私たちでも行けるんですか。

向出次長 是非来ていただければ有り難いと思っております。

山下教育長 是非ご参加の方よろしくお願いいたします。他、ございませんか。

篠原委員 はい、20ページにラズベリーパイの各小学校校区開催日時が書かれていますけれども、各学校では何年生で何人くらいを対象としているんですか。全校生徒ですか。

向出次長 これは5、6年生なんですが、実際は見ていただくとわかるように1会場で講師が3名なので10名前後、ただし希望が多く来た場合はある程度その学校で、ここに載っている以外に教室を増やす、例えば山代小学校は1回にしてありますが、当然人数も多い学校ですから、多くなったときは多少その前後で教室を拡張させるということも考えており

ます。

篠原委員 夏休み中の実施ですから、希望者でだいたい10名前後、5、6年生ということでいいですね。

向出次長 はい。

篠原委員 次の電気工作プログラミングというのは、各回定員20名ということは20名しかとらないということですね。

向出次長 はい。

篠原委員 わかりました。ありがとうございます。

山下教育長 このラズベリーパイは参加児童に全員、作った後にこれがもれなくもらえるということですね。

向出次長 一応そのラズベリーパイと、少しつなぐことができるようなものを配布するということになっております。

篠原委員 ラズベリーパイというのはコンピュータだと思うんですけど、具体的にはどんなものを作るんですか。

向出次長 簡単に言いますと、パソコンですので、ある線をつないで、例えばプログラムしてLEDを光らせるとか、そういうようなものを体験したりとか、今文科省もいっているプログラミング教育の教材を見られるとか、高度ではないんですが、そういうようなこともできると。それをより高いレベルにしたのが先ほど言った工作の方になります。例えばイルミネーションみたいな感じになっていくとか、そういうふうに伺っております。

篠原委員 これだけではなくディスプレイが当然あるわけですね。

向出次長 その教室のときには用意されます。

篠原委員 例えばこういうつなぎ方をすればこういう点滅をするとか、そういうようなことを体験してもらおうということですね。

向出次長 そうです。これを参加したお子さんには持って帰ってもらうということです。

篠原委員 10名前後で20カ所なのでだいたい200個前後ですね。

佐野委員 ロボレーブとかにつながっていくんですか。

向出次長 最終的にはロボレーブにもつながっていくんですが、結局ロボレーブはロボレーブでありますので。

梶谷局長 補足をお願いします。これでコンピュータの本体になります。30年前にあったPCとかFMとかと同じ機能があるんです。この大きさと値段が1,000円です。これが本体なので電源をつないで、あとUSBをつないだり、モデムをつないだりということで、これに変換で入れるのにモニターとキーボードをつなぎます。その周辺機器も渡そうと。家にデスクトップがあればそれを利用してできるんですが、ちょっと線が違うので、その変換器くらいまでは出そうかと。そこはまだ決まっていはいませんが、それでよければ家でも自分のができるという感じにしようかなと。実際にgo toとかif文であれば全部これで行えるようになります。そして簡単なテレビゲーム風のものともできるようになると。なぜ5、6年生に今やるのかというのは、Googleの村上元副社長もやはり小さい時からそういったものに慣れさすという、希望者には無償で渡すというのは、そういう機会に触れて自分のものになるとどんどんそこから入ってくるというので、その裾野をという

ことです。こちらの電気工作プログラミングはその広い裾野の中からトップになるような子を引き上げるといような目的で、特に今関心のある子達にもっともっと刺激を与えて、こういう専門に進んでいこうと。本当はラジコンカーを作ろうとかをやるとやはりそっちの方がみんないいんですけど、これも当然これにつないで車を動かすということも可能です。ですから今ロボレーブのあの中に乗っている基盤と一緒になんです。これにもうひとつ併せてタイヤを動かす線をつないでいけばその元になるということです。そして子ども達だけではなくて、なんでこういうことを子ども達にする、なぜ今こういうことが必要なのかというのが21ページの村上さんの講演会になります。それに基づいて、それなら子ども達行きなさいという後押しをしていただいて、ラズベリーパイがあると。そういう興味のある子ども達をもっと伸ばしてあげようという3本柱でもあります。村上さんは今、加賀市の方でやっていますスマート加賀IoT推進協議会代表ということになっております。将来的にはこういうものがわかっていないと職業がなくなってくるのではないかということ。

篠原委員 マザーボードだけもらってもあれなので、参加者にはそれにプラスなにかつくということですね。

梶谷局長 この時にはつなげて楽しさをとるので、つなげるようにするかは未定です。興味をもつきっかけなので、これをもらってやりたいと思ってもらえたらいいんじゃないかというのもひとつの考え方なのかなと。

篠原委員 結局これはマザーボードをもらって、その次の電気工作プログラミングに出れば、それを使ってなにかすると理解すればいいですか。

梶谷局長 それはまた対象が違います。発展型は自分で小さいパソコンでやっているような子達が対象になってきます。

向出次長 モニターはHDMIなのでその変換ができるようにしてあるので、たぶんご家庭のテレビにもつなげられたり、そういうようにもらってどうしようもならないということにはならないように、できる限りそのような配慮はしてあるとご理解をいただきたいと思えます。

篠原委員 わかりました。

山下委員 ラズベリーパイを使って、拡張性のあるもの、つなげるものを例えば会社で紹介しているとか、発展性があるということですか。

向出次長 そうですね。その教室で体験した以外にこんなこともできるというようなことを紹介していただきたいということは要望として言っております。

山下教育長 だいたいおわかりでしょうか。昨日シンガポール工科大学の准教授が3名、山代小学校の4年生のちょうどプログラミング教育をやっているところの視察をしました。それを受けてそのあと校長室で話をしていたんですが、シンガポールでは3、4歳あたりから親が持っているスマホで操作ができるようになって、小学校1、2年ではパソコンが結構使えるようになってきていると。プログラミング教育に関しては小学校4年生くらいから同じように始めるけれども、成績なんか全部家のパソコンに送られるというようになって、もうパソコンが使えるのが当たり前になって、小学生の低学年でもプレゼンができるくらいになっているというようなことで。そういうことから考えると、日本は携帯

篠原委員

やスマホは持たせないという指導をしているので。向こうはそういう制限をかけるのではなくて、使いながらどうトラブル等に対応していくかというかたちでどんどん使っていく方向をとっている。だから小学校の低学年でだいたいほとんどの子がパソコンを使用できるというような話でありました。またこれを機会にパソコンになじむ、プログラミングになじむという児童を増やすというのが目的であるとふうに捉えてください。確認ですが、先ほど講演会は見に行ってもいいよとおっしゃいましたが、この教室2つありますけど、顔を出したりしてもいいですか。

梶谷局長

大丈夫です。もうひとつ補足なんですけど、これは教育委員会だけではなくて、先ほど言いましたIoTの推進関係ですので、経済環境部と共同でやっている事業です。対象は小学生と保護者ということになってはいますけれども、元々は市をあげてやっています。これは学習指導要領でいうコーディングではなくプログラミング教育、コーディングはプログラムを打ち込んで作る方です。今問題なのは、便利になっているんですが、タブレットとかですと使うだけなんです。その中身を将来的にできるようにというふうな、だから使って触ってできるんですが、それがどうなっているのかをわかるまで、もうひとつ先に進んだというものになります。

山下教育長

この件についてはそれでよろしいですね。続きまして報告第32号、台湾嘉義大学附属小学校交流事業について向出次長お願いいたします。

- 報告第32号 台湾嘉義大学附属小学校交流事業について
向出次長 資料に基づき説明

山下教育長

この件についてご意見、ご質問ございませんか。

篠原委員

お願いします。昨年度は嘉義大学の方から素晴らしいオーケストラの方々がいらっしゃいましたが、今年度は加賀市からはプレゼンを作ってそこで発表をするということなんですけれども、もし具体的なイメージとして、向こうへ行って2、3日嘉義大学附属小学校と交流をすると書いてありますね。この交流の中身についてもう少し詳しいことがわかったら教えてください。

向出次長

はい、これはあちらとの話を詰めないと確定という言い方はできないんですが、一応こちらが考えているのは、まず終日のところはあちらの学校生活の体験、そのまま授業に入ったりとか、実際に学校生活体験をしてみると。そしてもうひとつは例えばあちらの方々に加賀市の良さや、自分たちのふるさとをアピールしてくるようなことができないかと考えております。ですからこれはまたあちらとの詳細の話し合いになると思いますが、学校の生活体験、あちらの学校と自分たちとの違いとか良さを感じてもらいたいという時間と、加賀市を台湾の方に紹介しながら自分たちのふるさと加賀市を振り返る機会にしたいというような、今のところそういうような素案で思っております。

篠原委員

付け加えていいですか。30名という規模なので結構な大人数ですよ。これは6年生だけです。そうすると、主に向こうの学校の6年生の教室に入るのかなとイメージがあります。その中で何クラスかに分かれて入るんだろうと思うんですが、見ていると予定ではそこで1日半交流をしますよね。その中で日常の学校生活体験をして、あるいは

- 加賀市のふるさと紹介をしていくというようなことでよろしいでしょうか。
- 向出次長 はい。それで例えば言葉の壁とかいろいろあると思うんですけども、今英語教育についても今後考えていかなければいけないという視点もありますので、例えば今外国語活動で学んでいることを活かす機会にしてみたり、いろんなことをプラス面で活かさないかなというふうには考えておりますが、またあちらとの協議で今の通りになるとは限らないんですが、一応思いとしてはそういうふうには思っております。
- 篠原委員 向こうは何クラスあるんですか。
- 梶谷局長 規模的には1,000人を超えた規模で大きいです。
- 篠原委員 30名ほどのクラスに5、6人ということですね。ありがとうございます。
- 山下教育長 他、ございませんか。なければ次にいきます。報告第33号、「実盛 ～追想から未来～」の開催結果について鳶崎課長お願いいたします。
- 報告第33号 「実盛 ～追想から未来～」の開催結果について
 鳶崎課長 資料に基づき説明
- 山下教育長 実盛追想事業について何かご意見、ご質問ございませんか。
- 午後のシンポジウムは加賀観光ホテルで300でも椅子が足りなくなるくらいに、大盛況になりました。それでは報告第34号、重要文化財「江沼神社長流亭」保存修理工事現場見学会について鳶崎課長お願いいたします。
- 報告第34号 重要文化財「江沼神社長流亭」保存修理工事現場見学会について
 鳶崎課長 資料に基づき説明
- 山下教育長 これは7月19日に3回セットされていますが、教育委員は15時から行うということですので。これは教育委員と文化財保護審議会の委員だけということですね。だから皆さん興味があって行きたい場合は、3時に現地に集合していただければいいということですね。
- 鳶崎課長 はい、そうです。
- 山下教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。
- 梶谷局長 これは屋根を葺き替えなので、今ははずしてある状態が見られるんですか。
- 鳶崎課長 そうです。屋根を葺いている最中を見られます。
- 梶谷局長 だから普段見られないところが見られるということです。費用はどうですか。
- 鳶崎課長 申し訳ないんですが、資料代として100円を徴収しておりますのでよろしくお願いいたします。
- 山下教育長 資料代100円がかかるということです。これで報告事項が終わりました。それではその他の運動会・体育祭への教育委員会参観予定について向出次長お願いいたします。
- 運動会・体育祭への教育委員会参観予定について
 向出次長 資料に基づき説明

山下教育長 運動会・体育祭への教育委員会参観予定について、このように入れさせていただきました。都合が悪かったらまた言っていただいて、変更もできるかと思っておりますので、よろしく願いいたします。続きまして、教育委員会の事務室等の移転について山本課長お願いいたします。

- 教育委員会の事務室等の移転について

山本課長 資料に基づき説明

山下教育長 1階、2階に教育委員会が移動するということです。これについて何かご意見、ご質問ございませんか。続いて平成29年度 石川縣市町教育委員会セミナーの開催について山本課長お願いいたします。

- 平成29年度 石川縣市町教育委員会セミナーの開催について

山本課長 資料に基づき説明

山下教育長 8月1日の教育委員会セミナーについてということです。詳細は次回の教育委員会でお話があるということです。それでよろしいですね。続いて平成29年度 加南地区教育委員会連絡協議会 研究大会について山本課長お願いいたします。

- 平成29年度 加南地区教育委員会連絡協議会 研究大会について

山本課長 資料に基づき説明

山下教育長 これは加南地区の4市長が持ち回りで行っている行事でありまして、去年は小松で行われました。今年は加賀市の順番ということで予定に入れておいてください。それではその他のその他ということで何かありますか。よろしいですか。それでは次回の教育委員会定例会について山本課長お願いいたします。

- 会議日程について

山本課長 資料に基づき説明

山下教育長 次回の定例教育委員会を7月28日金曜日、時間は4時30分ということでお願いいたします。これで本日予定しておりました議案は全部終わったんですが、この際何かありますか。ございませんか。

それでは以上をもちまして、第8回教育委員会定例会を閉会いたします。ご苦労様でした。

以上、会議の顛末を記載し、会議録を作成する。